

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認・話し合いをし保護者の意見を反映しながら業務改善につなげています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在、コロナ禍により外部研修は行っていないが、職員が講師となり社内研修を実施しています。また自己研鑽のため図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1	0	アセスメントを元にガイドラインで示される支援内容に沿って具体的な支援内容を検討し設定しています。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	0	職員間で共有し個別支援計画に沿った支援を行っています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い児童の発達状況に合わせて教具を工夫したりしています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日、または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	8	0	相談支援専門家と情報共有し連携した支援を行っています。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に連絡体制を整えています。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	7	0	現在訪問等はしていませんが、幼稚園の先生や保護者との電話や文書等のやりとりにて、情報共有と相互理解を図っています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	9	0	現在訪問等はしていませんが、保護者との電話や文書等のやり取りにて、情報共有と相互理解を図っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	8	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	9	0	幼稚園、保育所と並行利用している児童がほとんどのため、行っていません。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7	3	現在協議会等への参加はしていません。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
	保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0
32		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	2	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
33		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には、丁寧にアドバイスし必要に応じて支援を行っています。
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9	1	現在保護者会等は開催しておりません。
35		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	相談や申入れを受けた際には、職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応出来るようにしています。
36		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	7	3	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
37		個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をいただいております。
38		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	0	児童の特性や様子等把握し、相手に伝わるコミュニケーションの方法を考え実践しています。
39		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	3	招待する等の運営はしていませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。
40		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	2	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有や、さらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	0	予防接種については保護者からの話しにて把握しています。服薬含むてんかん発作等については契約時やアセスメントにて聞き取りを行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話しにて把握し対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努めすぐに対応出来るようにしています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	3	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認・話し合いをし保護者の意見を反映しながら業務改善につなげています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在、コロナ禍により外部研修は行っていませんが、職員が講師となり社内研修を実施しています。また自己研鑽のため図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1	0	アセスメントを元にガイドラインで示される支援内容に沿って具体的な支援内容を検討し設定しています。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	0	職員間で共有し個別支援計画に沿った支援を行っています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い児童の発達状況に合わせて教具を工夫したりしています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日、または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	8	0	相談支援専門家と情報共有し連携した支援を行っています。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっ

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に連絡体制を整えています。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	7	0	現在訪問等はしていませんが、幼稚園の先生や保護者との電話や文書等のやりとりにて、情報共有と相互理解を図っています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	9	0	現在訪問等はしていませんが、保護者との電話や文書等のやり取りにて、情報共有と相互理解を図っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	8	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	9	0	幼稚園、保育所と並行利用している児童がほとんどのため、行っていません。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7	3	現在協議会等への参加はしていません。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
	保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0
32		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	2	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
33		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には、丁寧にアドバイスし必要に応じて支援を行っています。
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9	1	現在保護者会等は開催しておりません。
35		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	相談や申入れを受けた際には、職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応出来るようにしています。
36		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	7	3	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
37		個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をしていただいております。
38		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	0	児童の特性や様子等把握し、相手に伝わるコミュニケーションの方法を考え実践しています。
39		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	3	招待する等の運営はしていませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。
40		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	2	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきつ

非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有や、さらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	0	予防接種については保護者からの話しにて把握しています。服薬含むてんかん発作等については契約時やアセスメントにて聞き取りを行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話しにて把握し対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努めすぐに対応出来るようにしています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	3	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認・話し合いをし保護者の意見を反映しながら業務改善につなげています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在、コロナ禍により外部研修は行っていないが、職員が講師となり社内研修を実施しています。また自己研鑽のため図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1	0	アセスメントを元にガイドラインで示される支援内容に沿って具体的な支援内容を検討し設定しています。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	0	職員間で共有し個別支援計画に沿った支援を行っています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い児童の発達状況に合わせて教具を工夫したりしています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日、または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	8	0	相談支援専門家と情報共有し連携した支援を行っています。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっ

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に連絡体制を整えています。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	7	0	現在訪問等はしていませんが、幼稚園の先生や保護者との電話や文書等のやりとりにて、情報共有と相互理解を図っています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	9	0	現在訪問等はしていませんが、保護者との電話や文書等のやり取りにて、情報共有と相互理解を図っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	8	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	9	0	幼稚園、保育所と並行利用している児童がほとんどのため、行っていません。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7	3	現在協議会等への参加はしていません。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
	保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0
32		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	2	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
33		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には、丁寧にアドバイスし必要に応じて支援を行っています。
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9	1	現在保護者会等は開催しておりません。
35		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	相談や申入れを受けた際には、職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応出来るようにしています。
36		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	7	3	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
37		個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をいただいております。
38		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	0	児童の特性や様子等把握し、相手に伝わるコミュニケーションの方法を考え実践しています。
39		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	3	招待する等の運営はしていませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。
40		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	2	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきつ

非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有や、さらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	0	予防接種については保護者からの話しにて把握していません。服薬含むてんかん発作等については契約時やアセスメントにて聞き取りを行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話しにて把握し対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努めすぐに対応出来るようにしています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	3	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

アンケート期間:令和 5年 1月 16日~令和 5年 2月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ 保護者等数(児童数) 5人 回収数 4人 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0		
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0		
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0		
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	0		
保護者 への 説明等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0		
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4	0	0		
	11 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	2	0		
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	0	0		
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	0	お祭りやクリスマス会があると楽しいのかなと思います。	行事を楽しむための小さな催しは開催する予定です
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0		
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0		

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 17日

アンケート期間:令和 5年 1月 16日~令和 5年 2月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ 保護者等数(児童数) 5人 回収数 4人 割合 80%

	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1	0		
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	0	0		
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3	1	0		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	0		
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0		
	22	事業所の支援に満足しているか	4	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき-

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認、話し合いをし保護者の意見を反映しながら事業改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在コロナ禍のより外部研修は行っていませんが、職員が講師となり、社内研修を実施しています。また自己研鑽のための図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い、児童の発達状況に合わせて、教具を工夫したりしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0	0	活動時間によって内容を設定したり、季節や支援状況によっては新しい活動を取り入れるなどして計画を立て、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	3	0	児童1人1人に合った制作活動や療育内容、児童同士で協力したりする活動や課題等を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	3	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき-

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	送迎時に児童の学校での様子を含めた情報共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	6	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	10	0	就学前に利用していた機関とではなく保護者を介して情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、移行する場合は支援内容等の情報を共有、提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	7	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	0	施設にお伺いしての交流はコロナ禍により取り入れられてはいたませんが、公園等で交流することはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	10	0	現在協議会等への参加はしておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	10	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0	契約時に説明しています。また質問等があれば随時回答しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	3	現在、保護者会等は開催しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	気になる点や苦情があった場合には職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をしていただいております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	相手に伝わるコミュニケーションの方法として、言葉が話せない児童にはジェスチャーを教える等考え実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	3	招待する等の運営はしておりませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有やさらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	4	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努め、すぐに対応出来るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	4	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話にて把握し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認、話し合いをし保護者の意見を反映しながら事業改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在コロナ禍のより外部研修は行っていませんが、職員が講師となり、社内研修を実施しています。また自己研鑽のための図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い、児童の発達状況に合わせて、教具を工夫したりしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0	0	活動時間によって内容を設定したり、季節や支援状況によっては新しい活動を取り入れるなどして計画を立て、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	3	0	児童1人1人に合った制作活動や療育内容、児童同士で協力したりする活動や課題等を複数組み合わせさせて支援を行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	3	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	送迎時に児童の学校での様子を含めた情報共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	6	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行ってまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	10	0	就学前に利用していた機関とではなく保護者を介して情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、移行する場合は支援内容等の情報を共有、提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	7	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	0	施設にお伺いしての交流はコロナ禍により取り入れられてはいたませんが、公園等で交流することはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	10	0	現在協議会等への参加はしておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	10	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0	契約時に説明しています。また質問等があれば随時回答しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	3	現在、保護者会等は開催しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	気になる点や苦情があった場合には職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をしていただいております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	相手に伝わるコミュニケーションの方法として、言葉が話せない児童にはジェスチャーを教える等考え実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	1	7	3	招待する等の運営はしてませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有やさらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	4	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努め、すぐに対応出来るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	4	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話にて把握し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき-

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認、話し合いをし保護者の意見を反映しながら事業改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在コロナ禍のより外部研修は行っていませんが、職員が講師となり、社内研修を実施しています。また自己研鑽のための図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い、児童の発達状況に合わせて、教具を工夫したりしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0	0	活動時間によって内容を設定したり、季節や支援状況によっては新しい活動を取り入れるなどして計画を立て、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	3	0	児童1人1人に合った制作活動や療育内容、児童同士で協力したりする活動や課題等を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	3	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき-

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	送迎時に児童の学校での様子を含めた情報共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	6	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	10	0	就学前に利用していた機関とではなく保護者を介して情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、移行する場合は支援内容等の情報を共有、提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	7	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	0	施設にお伺いしての交流はコロナ禍により取り入れられてはいたませんが、公園等で交流することはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	10	0	現在協議会等への参加はしておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	10	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0	契約時に説明しています。また質問等があれば随時回答しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	3	現在、保護者会等は開催しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	気になる点や苦情があった場合には職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をしていただいております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	相手に伝わるコミュニケーションの方法として、言葉が話せない児童にはジェスチャーを教える等考え実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	3	招待する等の運営はしてませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有やさらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	4	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努め、すぐに対応出来るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	4	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話にて把握し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	0	スペースは十分な広さがあると思います。机や運動遊具の配置によってはやや狭く感じる場面もあるため、配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	利用定員に対する職員の配置基準は満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	0	0	目立つ段差等はなく、指導訓練室にはジョイントマットを敷く等の配慮をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎日職員間で支援や業務について計画から実施後の反省まで話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者に対してアンケート調査を実施し、その結果を職員間で確認、話し合いをし保護者の意見を反映しながら事業改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	保護者向けアンケート評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、その結果による改善の内容を事業所のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	3	必要に応じて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	現在コロナ禍のより外部研修は行っていませんが、職員が講師となり、社内研修を実施しています。また自己研鑽のための図書を整備しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	0	アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	0	統一のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	0	職員間で話し合い、毎月の活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	0	職員間で意見を出し合い、児童の発達状況に合わせて、教具を工夫したりしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0	0	活動時間によって内容を設定したり、季節や支援状況によっては新しい活動を取り入れるなどして計画を立て、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し職員間で情報共有をしています。それを共に児発管が個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	前回利用時の児童の支援内容や課題等もふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	その日または次の日の朝のうちに職員間で情報共有し、改善点や次回利用時の支援の課題を話し合い確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	児童の支援状況等含む変化等を個人記録や業務日誌に記録しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	0	モニタリング前後で児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを元に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	3	0	児童1人1人に合った制作活動や療育内容、児童同士で協力したりする活動や課題等を複数組み合わせ合わせて支援を行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	3	0	現在は児発管のみの参加でしたが、今後は児発管と指導員の複数で参加予定です。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき-

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	0	送迎時に児童の学校での様子を含めた情報共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	6	0	現在対象児童はおりませんが、今後必要がある場合には積極的に関係機関と連携した支援を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	10	0	就学前に利用していた機関とではなく保護者を介して情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	10	0	現在対象児童はおりませんが、移行する場合は支援内容等の情報を共有、提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	7	0	専門機関と連携し助言はいただいておりますが、現在研修は受けておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	0	施設にお伺いしての交流はコロナ禍により取り入れられてはいたませんが、公園等で交流することはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	10	0	現在協議会等への参加はしておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて様子を伝え合い、共通理解を持って関わられるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	10	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて相談を受けた際には丁寧にアドバイスをしています。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	0	契約時に説明しています。また質問等があれば随時回答しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	0	ガイドラインのねらい及び支援内容に基づき作成しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	3	現在、保護者会等は開催しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	0	気になる点や苦情があった場合には職員間で情報共有し、体制を整備すると共に、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	9	0	送迎時や電話、文書等のやりとりにて活動内容や予定等を伝えているため、会報等の発行はしていません。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	0	個人情報の取扱いについては契約時に説明し同意の上契約をしていただいております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	相手に伝わるコミュニケーションの方法として、言葉が話せない児童にはジェスチャーを教える等考え実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	3	招待する等の運営はしてませんが、散歩の時に地域の方と挨拶をしたりして関わっています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:令和 5年 3月 17日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすき

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等各マニュアルは策定済みです。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	4	0	避難訓練は行っておりますが、保護者への情報共有やさらに具体的な内容の訓練を行うなどの改善をしていきたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	4	0	虐待防止の掲示物をしたり、職員間で話し合う等して虐待防止に努め、すぐに対応出来るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	4	0	現在対象児童はおりませんが、必要がある場合には保護者に説明し同意の上、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	0	アレルギーについては契約時やアセスメントの保護者からの話にて把握し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	0	療育の中での危険や事例について職員間で共有し、ヒヤリハット事例集を作成しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5年 3月 17日

アンケート期間:令和 5年 1月 16日～令和 5年 2月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ 保護者等数(児童数) 20人 回収数 17人割合 85%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	1	・以前他の子に足を踏まれたことがある。 ・エア遊具等をやるなら、もう少し広いほうが理想。	・大変申し訳ございません。注視して参ります。 ・大きいエア遊具を使用しているため、室内が狭く感じることもあるかと思っております。配置換え等で改善していきたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	7	0	・先生一人一人ご挨拶出ている方と知らない方もいるので、専門性までは・・・ ・スタッフが何の資格を持っているのか分からない	後日資料にまとめ配布する予定です。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	6	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12	4	1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	12	4	1	・もう少し面談等の機会があるとよい。	・事業所にて見学や面談等随時受け付けておりますので、お気軽にご相談下さい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	11	4		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	5	1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	7	3		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	9	・コロナ禍で難しいとは思いますが、休日(土曜日)に参観できたりする機会があればうれしいです。	・休日参観は実施未定ですが、事業所での見学は随時受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	4	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	6	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	7	0	・月に1回写真のみでいいので日頃の様子分かる会報があると、言葉でのコミュニケーションが難しい子の親には助かります。	・会報発行の予定はありませんが、事業所での見学は随時受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。
	14 個人情報に十分注意しているか	10	7	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	8	1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	10	0		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	・本当に大好きで楽しみに通っています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	13	4	0	・満足はしていますが、もう少しおむつ交換やトイレへの促しをお願いしたい。 ・何か特化した療法をできる講師等がきて活動ができる日があるとよいと感じた。	・おむつ交換やトイレへの声掛け促しは、今後も行い支援助助してまいります。 ・外部の講師を招いての療育は検討します。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結

公表:令和 5年 3月 17日

アンケート期間:令和 5年 1月 16日～令和 5年 2月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス すてっぷすきっぷ 保護者等数(児童数) 20人 回収数 17人割合 85%

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。